



# 高圧ケーブル故障検知器

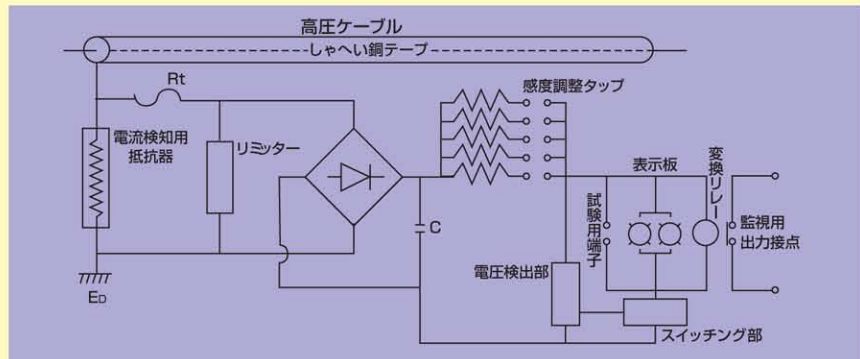
この装置は、高圧配電線路の各ケーブルにそれぞれ1台を設置して、何れかのケーブルに地絡故障が発生すると、地絡故障電流により自動的に動作し、故障ケーブルを表示するものです。故障ケーブルの探索発見のための労力と時間を省き、ダウンタイムの短縮をはかります。



## 装置の原理と回路図

ケーブルの中間部、または端末部で地絡故障が発生すると、故障電流はしゃへい銅テープの接地線を通じて大地に流れます。

本装置は、しゃへい銅テープの接地線に、その接地効果を阻害しない程度の低抵抗を直列に挿入して、常時電流を監視し地絡故障電流値に達すると表示板を反転させ故障表示するものです。

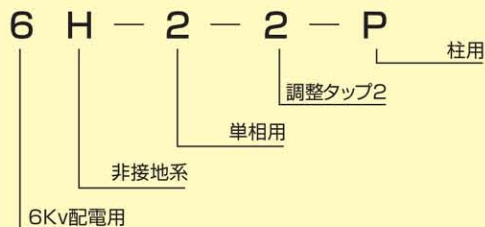


## 特長

- 外箱は成形強化プラスチック製ですので耐久性・防水性に秀れ、内部機構を保護するのに十分な強度をもっています。
- 本体外形寸法は332×242×135 (mm) と小型化され、柱・壁のいずれにも容易に取り付けができます。
- 表示部分は表面上部のガラス窓により見やすく、また、表示器は1相当り2個を配して、動作の信頼性を高めています。
- 各種配電線路に対応して、適正な動作特性を保持するように、感度調整タップを設けてあります。
- 三相用・单相用があります。
- 試験端子を設けてあり、専用テスターで高圧配電線路を停電させることなく、機能試験が行えます。  
(リセット機構により、手動で復帰させられます)

## 製品の呼び方

製品の呼び方は、配電方式、配電電圧、接地方式、相数及び感度調整タップの略号及び取付金具の種別により表わす。



## 製品の呼び方の略号

順位	区分	略号	種別	
第1位	配電電圧	3, 6	3: 3Kv	6: 6Kv
第2位	接地方式	H, G H', G'	H: 非接地系 H': 非接地特殊形	G: 抵抗接地系 G': 抵抗接地特殊形
第3位	相数	2, 3	2: 单相	3: 三相
第4位	感度調整タップ	1~ 5	1: 1タップ ~ 5: 5タップ	
第5位	取付金具	P, W	P: 柱用	W: 壁用

(注) 特殊箇所とは、高圧配電線路が超長トンネル・新幹線消雪基地等の特殊配電区間で1線地絡電流が概ね15A以上になる箇所を使用する。

## 動作特性

定格動作電流、動作時間等の特性は下表のとおりとする。

(注) 感度調整タップの区分は、故障検知器を設置する配電区間の配電線路の条件により、概ね次のように区分する。

- ① 非接地系の場合は、変電所の同一母線に接続されている高圧配電線露中のケーブル換算巨長延長により下表の区分とする。
- ② 抵抗接地系の場合は、変電所の絶縁変圧器の中性点に接続されている抵抗値によりする。

## 動作特性

項目	特性							
	種別	タップ値	1	2	3	4	5	
定格電流(A)	一般箇所用	非接地系	6Kv	0.5	1	2	3	4
			3Kv	0.25	0.5	1	1.5	2
	特殊箇所用	抵抗接地系	3・6Kv (共用)	2.5	5	—	—	—
		非接地特殊形	3・6Kv (共用)	5	10	—	—	—
	抵抗接地特殊形	3・6Kv (共用)	5	10	—	—	—	
定格値における動作時間	100ms以内で動作							
定格値の1.2倍の電流における動作時間	100ms以内で動作 (但し、20ms以内では動作しないこと)							
故障信号出力接点容量	DC30V 100mA以下							
故障信号出力時間 ※	20ms (故障時20ms間オープン、常時はクローズ)							

※ ⚠ 故障信号出力は極めて短時間 (20ms) です。監視盤等での受信方法に注意してください。